



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら

内分泌・ 代謝内科

内分泌・代謝内科の紹介

当科は糖尿病を主体とする代謝疾患、下垂体・甲状腺・副腎の機能異常など内分泌疾患の診療を外来・入院で行っています。

糖尿病につきましては、厚労省の調査によるとわが国の成人(20歳以上)では「糖尿病が強く疑われる人」が男性の19.7%、女性の10.7%であり近年増加が続いています。糖尿病はあまり自覚症状がありませんが、適切に管理されなければ視力障害、腎不全、下肢切断、虚血性心疾患、脳血管障害といった深刻な合併症につながり、生命やQOL(生活の質)を大きく損なってしまう。

大分県、大分市では人口当たりの透析導入がいずれも全国上位にあり、腎不全を防ぐためにも糖尿病や肥満などの基礎疾患の管理が大切なのです。糖尿病の治療の基本は食事や運動などの生活習慣の改善ですが、病状に応じていろいろな薬剤(内服、注射)を用います。当院においては医師のほか、糖尿病認定看護師、糖尿病療養指導士の資格を有するスタッフを中心にきめ細かい指導ができるように取り組んでおり、病棟では多職種スタッフが集まって個々の患者さんの治療方針を話し合います。そして多くの診療科を有する当院では、産科(妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠)、循環器内科(虚血性心疾患、心不全)、眼科(糖尿病網膜症)、腎臓内科(糖尿病性腎症)、皮膚科・形成外科(皮膚・足病変)など、他科、他部門の協力して、一体的に対応してまいります。かかりつけ医療機関の先生方、訪問看護など社会サービスのスタッフの方々と連携して、地域で患者さんの療養をサポートさせていただく体制づくりも必要と考えています。

(内分泌・代謝内科 部長 田中 克宏)



※掲載内容の詳細は各科外来・各病棟でお尋ねください。

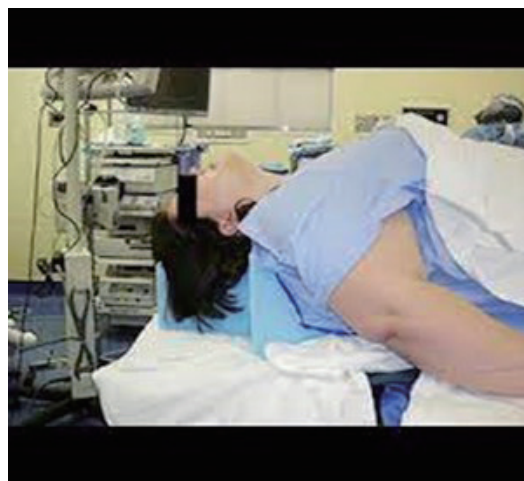
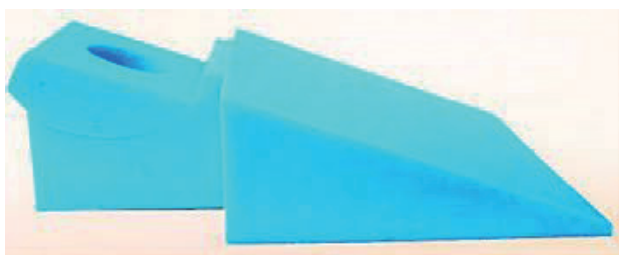
(裏面をご覧ください)

麻酔科

肥満手術対応用ピースピロー

肥満者は咽頭周囲の軟部組織が増大することにより上気道が狭くなりやすくなります。また、皮下脂肪や腹部内蔵脂肪により横隔膜が押し上げられて胸郭が動きにくくなり、重症の低酸素血症を起こしやすいのです。頸部後屈が困難であり睡眠時無呼吸がある人はバッグマスク人工呼吸の困難や気管挿管困難が予想されます。

肥満患者の手術麻酔において安全な気道管理を行うためには、頭だけでなく上半身も持ち上げて、外耳と胸骨を水平にする“Ramp”体位にすることが重要といわれています。肥満患者の手術時は、Ramp体位に、頭高位を加えることで、気道開通性、呼吸予備能が改善されます。Ramp体位をとって気管確保を容易にするために米国 Dr. Kaiduan Pi により開発されたのがピースピローで、シングルユースのポリウレタン製です。



胸郭上部・頭部を効率的に上げることにより、マスクを使った人工呼吸や気管挿管を容易にします。また、術後麻酔ケアにおける気道確保も容易にするので麻酔覚醒を安全に行えます。

当院では最高でBMI 51.19・肥満度5の超肥満患者の麻酔を経験しました。しかし、高度肥満患者は無事に麻酔や手術が行えても、無気肺の予防などの術後の呼吸管理や、深部静脈血栓症・肺塞栓の予防などが必要であり、正常者よりリスクが高いのは変わりありません。太りすぎないに越したことはないのです。

(麻酔科 部長 宇野 太啓)



看護師ほか医療スタッフの
臨時職員を募集しています。
詳しくはこちら